

会議の概要（議事録）

会 議 の 名 称	(番号) 1－28	令和7年度第1回 障害者施策推進協議会		
開 催 日 時	令和7年8月1日（金） 午前10時00分から正午まで			
開 催 場 所	すみだリバーサイドホール1階会議室			
委 員 名 簿	【墨田区障害者施策推進協議会委員】出席18名			
		氏 名	所 属 等	出欠
	1	庄 司 道 子	墨田区障害者団体連合会	出席
	2	三 宅 裕	墨田区障害者団体連合会	出席
	3	浅 岡 ミサ子	墨田区障害者団体連合会	出席
	4	串 間 輝 幸	墨田区障害者団体連合会	出席
	5	菊 池 昌 子	墨田区障害者団体連合会	出席
	6	三 浦 八重子	墨田区障害者団体連合会	出席
	7	八 代 純 子	墨田区知的障害者相談員	出席
	8	小久保 明	墨田区身体障害者相談員	出席
	9	鎌 形 由美子	墨田区社会福祉協議会	出席
	10	原 口 春 美	墨田区民生委員・児童委員協議会	出席
	11	塩 塚 靖 基	障害福祉サービス事業者	出席
	12	加 藤 ひろき	墨田区議会議員	出席
	13	小 林 しょう	墨田区議会議員	出席
	14	たかはしのりこ	墨田区議会議員	出席
	15	遠 藤 ミホ	墨田区議会議員	欠席
	16	井 上 ノエミ	墨田区議会議員	出席
	17	甲 斐 まりこ	墨田区議会議員	出席
	18	深 谷 純 一	東京都立墨田特別支援学校長	欠席
	19	小 出 和 正	特別支援学級設置中学校代表（墨田中学校）	出席
	20	金 内 波 子	墨田公共職業安定所 雇用開発部長	出席
	21	渡 瀬 博 俊	墨田区保健所長	出席
	【事務局】 福祉部長、障害者福祉課長、学務課長、障害者福祉課係長級職員			
会 議 の 公 開 （ 傍 聴 ）	公開(傍聴できる) 部分公開(部分傍聴できる) 非公開(傍聴できない)		傍聴者数	0人
議 題	1 墨田区障害福祉総合計画（墨田区障害者行動計画、墨田区障害福祉計画、墨田区障害児福祉計画）の令和6年度事業実績、令和7年度事業計画について			

配 付 資 料	<事前送付> (1)「墨田区障害者行動計画」「墨田区障害福祉計画」「墨田区障害児福祉計画」令和6年度実績報告、令和7年度事業計画（概要版） (2)「墨田区障害者行動計画」令和6年度実績報告、令和7年度事業計画 (3)「墨田区障害福祉計画」「墨田区障害児福祉計画」令和6年度実績報告、令和7年度事業計画 <当日配布> 資料1 委員名簿 資料2 墨田区障害者施策推進協議会について 資料3 墨田区障害者施策推進協議会に関する要綱 資料4 事前質問への回答 資料5 計画策定に向けた調査と検討体制について 資料6 令和7年度墨田区障害者地域自立支援協議会報告
会 議 概 要	
1 開会 福祉部長挨拶の後、委嘱状を伝達した。障害者福祉課長が、傍聴人0人の報告と、後日議事録が公開されることの説明を行った。 2 議題 (1) 障害者福祉課長から墨田区障害福祉総合計画（墨田区障害者行動計画、墨田区障害福祉計画、墨田区障害児福祉計画）の令和6年度事業実績、令和7年度事業計画について説明した。 (2) 障害者福祉課長が資料4のとおり事前質問へ回答した。 (3) 議題についての質疑応答 【A委員】 事前質問でありましたが、事業計画に対する評価のところにひっかかる部分があります。障害福祉計画の事業評価、A評価が58事業、その他が3事業とありますが、私からすればBの「計画に遅れが生じている」とその他の「計画の見直し等の必要が生じている」は一緒ではないかと。細かいところでいえば、事前質問にあった実績の評価基準について、「見込み量の比較だけではなく、見込み量が十分に利用者のニーズを反映させたものかについても、実績の評価として重要と考えます。」とありますが、これこそが重要です。見込み量というのはあくまでも行政側の予測であるので、ここに書かれているとおり、ニーズを伺って、それを反映させたものを目標として設定し、それに対して実績はどうだったということをやらないと、未来はないと思います。 一つの例として、障害福祉計画の実績報告の6ページ目の就労定着支援について、令和6年度の見込みが87人とありまして、実績が51人。評価には色々な見方があると思いますが、下の米印で「見込み量内の実績であり、必要サービス量は適正に確保されているためA評価とする。」とあります。ただ前年を見ると、見込み36人、実績58人、これは超えているからA評価としています。こんな甘い評価していたら本来の計画に対して実績を評価してこの先の未来を描いていくことには繋がらないという部分も見えています。次は見込みが予測ではなく目標をきちんと立てて、それに対して事業が動いているか、実績が推移しているかというものを追っていくべきだと、一つのご意見として申し上げます。 【事務局】 評価はどの事業についても重要であり、実績をふまえた評価を経て、今後の計画というものがあります。おっしゃる通り見込みというあくまでも行政側の予測であり、利用する方たちが使いやすく、	

また今後の支援に繋がる部分はその先にございます。私たちが事業をやる中ではどうしてもA評価を求めていかななくてはならないと思いますので、いただいたご意見を真摯に受け止めて、今後は適切な評価につながるように考えて行きたいと思います。

【A委員】

今おっしゃった、A評価を求めていくことももちろん必要だと思いますが、誰が見ても違和感があるA評価が並んでいたって意味がないです。しっかり見るものを見て変えていっていただきたいです。

【事務局】

6ページの就労定着支援については、利用者の実績について数値が徐々に上がってきたため、大きく令和6年度に見込み量を増やしたという部分があります。ただ実績からすると大きな増加は出なかったというところがあるので、ご指摘いただいた部分については十分に認識して考えていきたいと思います。

【B委員】

本日、この冊子（障害福祉総合計画本編）をお配りいただいて、令和8年度までしっかりこの計画で行っていくということですが、視覚障害のある方からご意見をいただいたのでお伝えします。墨田区のホームページに掲載されている、「すみダック」くんというキャラクターのイラストを視覚障害者の方がスマホなどの読み上げ機能で読んだときに「キャラクター」ではなく「ドローイング〜〜」という音声表示になるので、本当に障害者のことを考えて作っているのかというご意見です。今回の障害福祉総合計画では、本編と概要版を作っていると思うのですが、概要版の方には音声コード（ユニボイス）を付けていただいています。けれども、本編の方には音声コードが付いていません。1ページ1ページ全部に付けないといけないので、なかなか大変な作業というのはわかりますが、近隣区を調べると付いている区はいくつかあります。当事者に読んでいただきたい計画だと思うので、今後そういったところを配慮して作っていただければありがたいなと思います。

【事務局】

ありがとうございます。確かに概要版には音声コードが付いています。おっしゃった通り各区で音声コードの付与を実施しているということもあります。来年度、計画の冊子を作っていきますが、概要版だけでなく本編についても考えていかななくてはいけないことを理解しています。概要版だけ読めばいいという考えではありません。

【C委員】

私からは前回も要望させていただいた墨田区の精神障害のある方の移動支援が少し手薄になっているところを引き続き要望させていただきたいと思います。墨田区は身体障害と知的障害のある方にはタクシーのチケットを助成する形で移動支援をしていますが、それに関して精神障害のある方だけ対象になっていません。これはおととしくらいの予算委員会で要望したのですが、この間にJRの基準が変わりました。昨年度は、墨田区だけでなくほかの江東5区も精神障害のある方は移動支援が無いといわれましたが、別にほかの区ではなくても墨田区で実現することはできると思います。JRなどの様子をみての進捗をお聞かせください。

【事務局】

各区の状況を調べた内容では、23区中6区が精神障害者保健福祉手帳1級の方を対象としたタクシー券の交付をしていると把握しています。この状況の中で精神障害者保健福祉手帳1級の方が1人で行動できるかどうかという部分も十分に考えていかなければいけないと思っております。他区の状況を鑑みたうえで勉強中であるというところです。

【C委員】

先ほど精神障害のある方が1人で移動できるかということがあったのですが、1人で移動できるかということはあまり関係が無いと思っています。付き添いの方がいても公共交通機関を使うのは難しいけれど、タクシーであれば移動できるということが重要だと思いますので、その点でほかの障害のある方と区別する理由がないです。また、23区中6区もあれば、墨田区だけでも実施することができて、これは防災関係ではないので江東5区という括りはいらんではないかと思います。少しでも早く実現できるよう引き続き要望してまいりたいと思います。

【D委員】

質問8にも出ている入所施設に対して、何年も前から言っていますが、東京都で入所施設がない区が墨田区だけになってしまいました。1～2年のスパンで作れと言っているのではないので、5～10年のスパンで考えて、作る時はどうせ作るのなら、例えばボランティアセンターの機能も全部入れるとか、そういった複合の施設にしてほしいと思います。入所施設というのは、その中で生活するので、生活介護や就労Bも建物の中に必要です。だからかなり広い土地も必要になると思います。せっかく作るのだったら話し合いを重ねて、より良いものを作ってほしいと思います。そして強度行動障害のある人も、ダウン症の人も、聴覚障害のある人も、医療的ケアのある人もユニットごとに生活できるようなものが絶対に必要だと思います。

(現在建設中の) グループホームができたとしても、(入所できるのは) 10名ですし、今度できるグループホームは東京都からも予算をいただいているので、多分墨田区の方は8名くらいしか入れません。だからそれで足りているわけではないです。多分5年10年経つと、今支援学校に通っている人たちの親も年を取ります。東京都で入所施設の無い区は墨田区しかなく、ほかの区には3つ目4つ目の入所施設ができています。あと、昔作った入所施設を複合で立派な施設に建て直すというようなことを今ほかの区はやっています。とても目立つおしゃれなところに、大きな施設を作って、うちの子が働いているから食べに行くのではなくて、おいしいから食べに行くというようなカフェが1階にある施設が多いです。墨田区はそういうことが無く、なんでも小さいもの小さいものを作っている気がします。土地が潤沢にある区ではないとは思いますが、ニーズ調査をしても絶対に必要なものだと思いますので、よろしくお願いします。

【事務局】

そういったご意見は以前よりもいただいています。土地についての課題は大きいと思います。また土地の活用についてのチャンスが今後出てくるかという問題もあります。見逃さないように、私どもの方で意見をあげていく必要があると思います。それが複合的ということになると更に関係する各部署との調整というのもあり、来年、再来年にできるものではもちろん無いので、今後の計画策定にあたり検討していきたいと思います。

【E委員】

入所施設についてはすぐではなくても、いずれできればいいなと思います。

【F委員】

グループホームについて1点要望を申し上げたいと思います。はるたか会が運営事業者に決まって、ようやく工事に着工ができて安心しております。実は不安の声が上がってしまして、今そこで工事が3つ進行していて、今回のグループホームが1件と、医師会が1件、その隣に民間事業者で9階建てのマンション建設が進んでいます。この前曳舟文化センターで説明会があったそうですが、これから工事が本格化するというので、この先2～3年で、あの狭い土地で工事が3つ進行することになりますので、そのあたり課としても逐次情報をとって、開所が令和8年度3月とありますけれども、工事がこれ以上遅れて、開所が延びることがないように注意していただきたいとい

うことを要望として申し上げたいと思います。

【事務局】

今現在月１回、施主と建設事業者さんとの打ち合わせがありますので、その中でそういったご意見を伝えていけたらと思います。ただ工期を定めただうえで、その工期内で竣工にもっていくというのは変わらない話で進めていく予定ですので、工期が遅れるということは今現在私共では考えておりません。

３ 区からの報告

- （１）庶務係主査より、資料５を用いて計画策定に向けた調査と検討体制について報告した。
- （２）相談係長より、資料６を用いて墨田区地域自立支援協議会について報告した。

会議の概要は、以上である。

所 管 課	福祉部障害者福祉課庶務係（内線３０７７）
-------	----------------------